

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369

定例会における議案審議



総務まちづくり常任委員会



厚生文教常任委員会



全員協議会

平成 30 年 第 2 回定例会

- ・「日の出町学童クラブの設置及び運営に関する条例」など
議案審議 **PICK UP** 2P
- ・ **一般質問** 「町政を問う」 11人の議員 4P
- ・議会町民懇談会を開催しました 10P

6月定例会 議案審議

こんなことが決まりました。

6月1日～6月15日までの15日間

6月定例会議案

町長提出議案
12件

今号では、3つの議案を
Pick up



日の出町「ひのでちゃん」

(議案第34号)

日の出町学童クラブの設置及び運営に関する条例の
全部を改正する条例

Pick up

1

学童クラブの延長指導を実施します。

学童クラブの延長指導を実施することにより、在籍する児童の保護者が安心して就労等に従事できる環境を整え、当該児童の健全な育成を図るため、次のような改正を加え、条文を全部改正するものです。

主な改正内容

- ・指導時間を午後6時から午後7時まで延長することができる。
- ・この時間の延長育成料は、一時利用は3000円、月額では2000円とする。

(議案第36号)

日の出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Pick up
2

学童クラブに従事する支援員の資格要件の拡大を行いました。

この「放課後児童健全育成事業」とは、法律上の正式名称で、町では「学童クラブ」という名称で設置運営しているものです。

主な改正内容

- ・支援員の基礎資格の規定について、教員免許状の更新を受けていない場合の取扱いを明確にするため、現行の規定を「教育職員免許法第4条に規定する免許状を有する者」と改正し、また、学童クラブに従事する支援員の確保を図るため、支援員の資格要件の拡大について、「5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であつて、町長が適当と認めたもの」を基礎資格として追加するものです。

(議案第39号)

日の出町諏訪下町営住宅建替え事業（四期工事）請負契約の締結について

Pick up
3

諏訪下町営住宅建替え事業を進めています。

昭和42年に建設された諏訪下町営住宅について、継続して建替え事業を年度ごとに実施しております。なお、今回が最終の年度となります。

主な事業内容

30年度は住宅の解体及び建築工事（1棟6戸）を行うものです。

議 案 と 結 果

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	明	自	公	町	共	新	結 果
29	日の出町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	同意
30	日の出町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
31	日の出町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
32	日の出町町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
33	日の出町学習等供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
34	日の出町学童クラブの設置及び運営に関する条例の全部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
35	平成 30 年度日の出町一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	可決
36	日の出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
37	日の出町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
38	日の出町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
39	日の出町諏訪下町営住宅建替え事業（四期工事）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	可決
40	日の出町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決

<各会派の名称と所属議員>

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
明 政 会	明	★田村 みさ子・濱中 映慈・清水 浩・萩原 隆旦	4 人
自民蒼政クラブ	自	★小玉 正義・星野 茂・東 亨・平野 隆史	4 人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2 人
町 民 党	町	★村木 満・青鹿 和男	2 人
日 本 共 産 党	共	★折田 眞知子	1 人
一 新 の 会	新	★加藤 光徳	1 人

一般質問

11人の議員

町政を問う

要旨

人事を問う

質 「担当課長」職の役割と配置の効果は。

課長 基本的に係長事務取扱とし、係長の仕事をしながら課長の役割も担っている。決裁権はないが、スタッフ職として課長とともに課をまとめたり、課長不在時の代理対応はできると考えている。現在、町職員の管理職は22人で、今年度も4人が退職予定である。退職と昇任がスムーズに行えるように、担当課長を配置している。

質 職員の休日出勤の状況は。

課長 29年度の超過勤務時間は2万507時間で、うち休日出勤は5千69時間、催しの多い7月や11月に多い傾向がある。代休はその週のうちに取得可能である。



田村みさ子

健康増進事業を問う

質 町で実施している様々な事業について。

町長 健康増進計画を策定し、乳幼児から高齢者までの健康づくりの施策を展開している。

質 事業効果の検証は。

課長 6施策に数値目標を設定し、32年度に効果を検証し、結果は次の計画に反映させる。



健康増進事業「ヨガ教室」

質 健康教育や相談は個人対応で継続的に実施されているか。

課長 3か所の老福センターを活用し、保健師と管理栄養士による運動や相談等を実施している。

保健センターで健康栄養相談、不定期であるがロビーで健康相談も行っている。

質 電話等の問い合わせの受付はどこか。

課長 保健センターで随時、保健師が各種相談を受けている。



縄井 貴代子

高齢化に伴う町民課題について

質 高齢者の見守りや相談体制を伺う。

課長 住民や関係協力機関・地域に密着している民間事業者と共に地域全体で見守り支え合う仕組みを強化・推進していく。必要な支援が行きわたる相談体制に努めていく。

質 高齢者を狙った特殊詐欺の対応策は。

課長 今年に入り町内でも2件の詐欺が発生している。防災行政無線やお知らせメール等、様々な媒体を活用し情報発信を行っているが、今後は、「在宅中でも留守番電話設定に」など覚えやすい言葉で防犯ポイントを発信していきたい。

質 成年後見制度の周知や適切な利用促進を行うため推進機関の設置を。

課長 町の社会福祉協議会や地域包括支援センターでは、講演会や制度の講座を開催している。29年度に、子育て福祉課・いきいき健康課・社会福祉協議会等で調整会議を行い、検討を始めているが、依頼がある場合には、まず、いきいき健康課で対応していきたい。



いきいき健康課窓口

質 遺族の負担軽減の為、死亡手続きに関して窓口のワンストップ化を求める。

課長 町民の多くの方が、町民課・いきいき健康課・税務課で死亡等の手続きが完了する為、現行の方法は効率が良いと考えている。国において「死亡・相続のワンストップサービス」が検討課題として挙げられているので、研究を続けていく。



小玉 正義

地域公共交通計画の今後の改善について

質 ぐるりん日の出号は一部ルートを変更して利用者の増加対策に向けるべきと思うが。

町長 基本計画で将来像を明らかにした。今年度は、ぐるりん日の出号の改善プランを基本に置き、今後、バス等の公共交通の改善を実現化する。

課長 利用者の増加、町民の合意が必要となり、関係者に生じる不満を少しでも緩和できるような解決策の検討が必要。ハード面では、車両の購入、改変やバス停設置の必要の有無などを検討する必要がある。今年度も「地域公共交通会議」において検討する。



高齢者外出支援バス 平井循環「さくら号」



萩原 隆巳

ごみ減量と資源活用に向けての施策について

質 本年、2月発行の「日の出町一般廃棄物処理基本計画」を受けて、ごみ減量策、回収有料化の評価、資源集

団回収育成策等に関し今後の施策を伺う。

町長 「環境先進都市ふるさとひので」を目標し、ごみゼロゼロ大作戦21推進協力会とも連携して、資源回収事業推進、分別の徹底ほか多様な施策を推進していく。

課長 西秋川衛生組合の溶融スラグ資源化によりリサイクル率は大きく向上した。有料化による排出減量効果は事業系ごみ受入れの影響等で見えていない。

質 ごみ収集有料化の評価・見直し予定は。

課長 使用料等適正化

プロジェクトチームで検討中。

質 有害ごみや資源Bは拡大生産者責任を求めるべきだが、町の考え方は。

課長 その推進は望ましいと考える。

質 集団回収の多くはステーション方式であるが、町の資源物戸別回収による影響は。

課長 戸別回収化した

平成26年に町の回収が約34%増え、集団回収は約11%減った。その後は両者とも年々減少傾向。

質 高齢化に伴う排出作業負担感増大により

集団回収縮小が懸念される。自治会側も工夫しているので、町としても資源物を明示的に集団回収に誘導する施策の検討を願いたい。

課長 厳しくなりつつある状況は理解している。集団回収への明示的誘導については研究課題としたい。



資源物集団回収の様子

清水 浩

しみず 清水



地域防災の充実強化について問う

質 自主防災組織の実態について。

町長 町内の自治会に自主防災組織を運営していたため、充実強化を図るため、資機材や非常食、生活用品等の購入資金を各自治会へ総額で約200万円を助成している。

質 「防災士」資格取得



消防団訓練活動の様子

以上の経験者であれば、資格試験などが免除される。消防退団者へ勧誘をしていきたい。

消防団体制の充実について問う

質 消防団員及び女性消防隊員の数について。

課長 5月現在で、消防団員149名、女性消防隊員8名である。

質 消防団員の減少対策につい

て。

課長 今後の方策としては、消防団員の定年延長及び本火災、災害時などの特定の活動のみ参加する、機能別消防団員制度の導入等も検討していく。

質 携帯用無線機の配備状況について。

課長 消防団の配備基準に基づき、東京都に予算要望していく。

課長 防災士を増やすため、消防団の分団長

率について。

町長 防災士とは、社会の様々な場で、防災力を高めるための活動が期待され、十分な意識・知識・技能を取得し、日本防災士機構が認証した方であり、町内では4月末時点で17人が資格を取得している。

質 防災士の取得について。



た。施行予測は大変に困難な状況である。

質 現制度で2割負担への変更時に、高齢者医療費助成した場合の助成額は。

課長 27年度の決算で試算すると、助成額から町に入った高額医療費を引いた金額が、助成実績額で約9千446万円である。

1割負担の被保険者は94%なので、94%の方を2割にすると、約1億8千255万円と試算される。

質 町としての対策を伺う。

副町長 現時点で、国の方で検討しているという報道は確認している。今後、確定的な情報も流れてくると思うので、その時は町として、検討の必要があると考える。

質 町に訪れた観光客数について。

課長 町では、さかな園、つるつる温泉、ひので肝要の里、日の出山荘、日の出山、イオンモール日の出の6ヶ所を調査し、行祭事・

質 新聞報道において「後期高齢者の医療費負担を1割から2割へ引上げを検討」とあった。町の単独施策である高齢者医療費助成への影響は。

課長 自己負担が1割から2割負担になれば医療費助成額も倍になると考えられる。

質 被保険者では1割負担と3割負担があるが、この割合は。

町の観光について

質 観光事業の状況は。

町長 平成23年3月に定めた「日の出町観光振興計画」に基づき、各種事業が住民主体で実施されており、ハイキングコースの整備、日の出山の山頂整備、つるつる温泉、さかな園、日の出山荘などの観光施設の整備も計画的に進めている。また、本年4月に、宝光寺の「鹿野大仏」が公開になり、町への入込客が増えており、町の観光振興につなげた対策を鋭意検討している。

質 イベント等の延べ人数は、19年度は約20万人、29年度は約86万人と推定され、この大幅な伸びは、イオンモール日の出が開業したことが要因と思われるが、イオンモール日の出から町内観光スポットや観光施設への

入込客は増えていないと思われる。

質 町内の観光スポットをつなぐ交通アクセスについて。

課長 観光スポットを結ぶ交通手段は今のところありません。他の観光地では、循環バスが回っていたりしますが、今後は、公共交通機関の見直しを含め、本年2月に策定した地域公共交通計画による検討を期待する。

質 観光事業の状況は。

町長 平成23年3月に定めた「日の出町観光振興計画」に基づき、各種事業が住民主体で実施されており、ハイキングコースの整備、日の出山の山頂整備、つるつる温泉、さかな園、日の出山荘などの観光施設の整備も計画的に進めている。また、本年4月に、宝光寺の「鹿野大仏」が公開になり、町への入込客が増えており、町の観光振興につなげた対策を鋭意検討している。



ひら 野の
たか 隆史



宝光寺の「鹿野大仏」



むら き
村 木

みつる
満



増水時の平井川

新規事業として予算計上された、河川映像監視システム設置について
質 設置目的について。
町長 早期の防災対策・対応の判断材料の一つとして、河川の水位状況を常に映像で監視できるシステムを設置するものである。河川付近に設置した監視カメラの映像をインター

ネットを利用して役場でライブ映像として確認することができ、町の災害対策等に活用していく。現在は、大雨による河川の水位の上昇は、職員等が実際に巡視し、確認しなければならなかったが、監視カメラを設置することで、現地に行かずに河川の状況を確認・把握ができ、地域防災計

画に基づいた判断基準にも活用することができ
質 設置場所について。
町長 地域の条件等を考慮し、1箇所に設置をしたい。場所の選定については、平井川及び各支流とも比較的急流河川であるため、流れが堤防又は河岸に強く当たる箇所、越水の危険性のある箇所や過去の災害実績箇所等の治水と支川との合流点等、日の出町土砂災害等ハザードマップなどを参考に、河川管理者である西多摩建設事務所等関係部署と調整し、設置場所を検討していきたい。なお、設置時期については、台風シーズンの前に設置する予定である。

地域包括ケアシステムの構築と充足に関して
質 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、重度な介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられることができる医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制「地域包括ケアシステム」の制度設計と方策を伺う。
町長 町が中心となり、地域の実情に応じた多様なサービスを充実し、地域の支え合い体制を推進してまいりたい。
課長 要支援者等の多様な生活支援ニーズについて、要支援者自身の能力を最大限に活かしつつ、介護予防・訪問看護等のほか、住民



か くら
嘉 倉

おさむ
治

参加できる多様なサービスを総合的に提供できる仕組み、ボランティア活動との連携等、地域全体で支えていくことが重要である。昨年より西多摩広域行政圏での連携が検討されている。
質 日の出町包括支援センターの業務と責務

が増加していくが、町との連携、具体的支援を伺う。
課長 日の出町包括支援センターを医療法人社団崎陽会に業務委託しており、必要な情報を共有し、連携を図っている。高齢者の総合相談・権利擁護・介護予防マネジメント等、町と一体となって、地域包括ケアシステムの構築と体制強化を図ってまいりたい。



日の出町包括支援センター



折田 眞知子

子どもの貧困対策を

質 文京区「ふるさと

納税」を参考にしては。

課長 ふるさと納税は

寄付行為であり、税制

優遇が受けられる。資

金調達としての新しい

手法で、「ガバメント・

クラウドファンディング

」で、制度としての

活用はできるが、実施

主体の体制整備や計画

の周知ができない限り、

難しいと考える。

課長 町として何がで

きるのか調査研究が必

要であり、アンケート

調査を含め、効果的な

実態把握の検討をして

いく。

質 国民健康保険の多

子世帯への助成に活用

を。

課長 少子化対策とし

て国保税の均等割軽

減は必要だと考えてい

る。現在2人目以降の

助成を行うとすれば、

200人が対象になる。

町単独の助成は難しい。

東京都町村会の予算要

望で、国に対し制度設

計を要望するよう都へ

要望している。

質 児童手当・就学援

助の支給状況は。

課長 児童扶養手当の

全額支給は35世帯、一

部支給が77世帯、就

学援助の該当児童は80

人、生徒は40人である。

質 様々な困難を抱え

ている場合の対応は。

課長 手当ての申請時

や健診・訪問などで聞

き取りを行ったり、保

育園や幼稚園、小・中

学校などでの様子を見

ながら、生活実態を把

握するよう勤め、関係

する部署につなぎ、適

切な支援を行っている。



あおしか かず お 青鹿 和男



森林経営管理法が本年

5月25日に成立

質 町は森林の経営管

理が円滑に行われるよ

うに必要な措置を講ず

るよう、努力規定が設

けられた、その目的は。

課長 自ら責務が果た

せない森林所有者の森

林を、所有者の同意に

基づき町が預かり、立

木の伐採及び木材の販

売、造成並びに保育を

実施するため。



員体制は。

課長 産業観光

課森林振興係は

5人、主に林務

を担当している

のは2人。

質 森林環境税

の平成31年度か

ら配分される譲

与税の実効ある

対策がとれるの

か。

課長 町はこの

税を財源として

森林の間伐・境

界確定・路網の

整備や人材育

成・担い手確保

や木材利用促進・普及

啓発を行うとされてい

ることから、今後、対

応策を検討していく。

質 小規模な町には重

い負担と思うが。

課長 相当な事務量と

思う。

今後、東京都から詳細

な業務の説明があると

思う、それらを理解し

た上で検討し、体制を

整えていきたい。

質 町の林業部門の職

日の出町議会活動報告

「町民懇談会」を5月13日に開催しました



本年度第1回目となりますが、やまびこホールにて開催しました。始めに予算決算常任委員会から、先般の3月議会で議決した「30年度予算」の概要報告を行いました。

内容では、主に自主財源の状況や新規事業を中心に説明し、その後は、質疑応答も行いました。

また、今回もテーマは、「町民の皆さまとの意見交換を行う」とし、その後も自由な論議となりました。

《主な意見》

- ・ 防犯カメラの設置台数と設置場所
- ・ 平井川の河川改修における浸水対策について
- ・ 歩道の樹木剪定、除雪対応状況について
- ・ ごみのポイ捨て禁止に関する条例化について
- ・ 受動喫煙防止における2020年オリンピックに向けた、町の取り組みについて
- ・ 総合文化体育センター設置場所及び維持管理について
- ・ 高齢者が安価で気楽に運動ができる場所について。
- ・ 高齢者医療費助成の医療費抑制策について
- ・ 「お助け隊」について
- ・ 太陽光パネル設置工事対策における条例化について
- ・ 東平井橋の橋脚下コンクリート堤の対応について
- ・ 横田基地関係のパラシュートの落下、オスプレイの配備における対応について
- ・ ホテルを増やす方法について
- ・ 地域振興費に関する自治会への支出方法について



ご来場ありがとうございました。



皆様からいただきました意見につきましては、町部局に報告するとともに、議会としても、今後調査研究をしていきます。

各常任委員会による事務事業評価の取り組みを始めました



議会における協議の様子

現在、町議会では、町の事務事業を選定、評価し、町の予算に反映させるための「議会事務事業評価」の取り組みを始めております。そのため、総務まちづくり常任委員会及び厚生文教常任委員会などを開催し、検討しております。



庁舎

9月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/19	20	21	22	23	24 議会運営 委員会	25
26	27	28	29	30	31 本会議 (議案審議)	9/1
2	3 本会議 (一般質問)	4	5	6 総務まちづくり 常任委員会	7 厚生文教 常任委員会	8
9	10 議会運営 委員会	11	12 予算決算 常任委員会	13 予算決算 常任委員会	14	15
16	17	18	19 本会議 (議案審議)	20	21	22

午前10時開会 議会を傍聴しましょう

請願・陳情は！

9月の定例会では、8月20日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- ① 請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情書にはその必要がありません。
- ② 内容が2件以上に及ぶときは、1件ごとにまとめて提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
- ③ 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し押印してください。連署者も同様です。
- ④ 陳情・請願書は原則として、A4版（縦長）の用紙に横書きで記入し提出してください。
- ⑤ 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
- ⑥ 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時間にご来庁願います）
- ⑦ その他、詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

（問い合わせ 電話（597）0511 内 363）

表

紙

本

文

〇〇に関する請願

紹介議員⑥

※陳情には紹介議員はいりません。

〇〇に関する請願（陳情）

要旨
理由

平成 年 月 日

請願（陳情）者

住所

氏名

電話番号

⑥

外 名

日の出町議会議長 殿

（陳情に表紙はいりません）

議 会 日 誌

第56回東京河川改修促進連盟総会及び大会



5月24日、調布市グリーンホールにて開催されました。

本会議の会議録を インターネット公開しています。

会議録とは、議会の活動経過を開会から閉会まで詳しく記録した公文書です。

知りたい情報を広く的確に調べることができますので、積極にご活用ください。

アクセス方法

町のホームページ
(www.town.hinode.tokyo.jp)

↓
町議会

↓
会議録

↓
会議録検索システム

日の出町議会情報には「議会開催日程・内容・議会だより」等も掲載しています。

議会だより編集委員

村木 満 清水 浩 青鹿 和男
縄井 貴代子 平野 隆史 折田 眞知子
(編集委員長)

日の出町議会事務局

☎ (597) 0511 内線 363

再生紙を使用しています。

東京都町村議会議員講演会



5月23日に東京グリーンパレスにて開催されました。
講師：国土舘大学 防災・救急救助総合研究所
教授 山崎 登氏(元NHK解説員)
演題：「災害に強い地域を作る～市町村の役割と責任～」

受けよう がん検診

日の出町では、9月5日から9日まで、胃がん
肺がん検診の申し込みを受付けています。

問い合わせは、いきいき健康課まで。

「秋川流域がん対策推進議員連盟」とは…

秋川流域の市町村の議員で構成されており、
がん対策推進の取り組みをしています。

編集後記

議会だよりが届く頃には、梅雨を終えて、日の出町は濃いみどり一色の季節をむかえていることと思います。

議会だよりも号を重ねる事に、創意工夫しながら皆さまにお届けしております。今回は、5月に行われた町民懇談会において、一般質問の要旨が伝わりにくいとのご意見を頂きましたので、各議員がわかりやすくお伝えする事を心がけました。いかがでしたでしょうか。今後とも、お気づきの点などがございましたら、ご意見をお寄せください。宜しくお願い致します。

編集委員 縄井 貴代子